

教育行政の基本方針

1. 伊豆の国市教育大綱（令和5年度～令和7年度）

（1）位置づけ

本大綱は、伊豆の国市における教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図るための基本方針であります。「第2次伊豆の国市総合計画後期基本計画（令和4年度～令和7年度）」に基づき、本市教育が目指す理念や方向性をまとめてあります。この大綱の方針を踏まえ、本市教育の一層の推進を図ることを目的に具体的な施策に取り組んでいきます。

（2）方針

**夢と志を持ち、自分の可能性に挑戦できる教育
多様性が尊重され、思いやりあふれる社会の構築への貢献
ふるさとを愛する人の育成**

夢と志を持ち、自分の可能性に挑戦できる教育

- ・ 誰一人取り残さず、一人ひとりが地域や国や世界で役割を担える力を育てます。
- ・ 科学技術の進歩など、次代を見据え、不確実な時代を主体的、創造的に生き抜く力を育てます。
- ・ 持続可能な社会の実現に貢献できる力を育てます。

多様性が尊重され、思いやりあふれる社会の構築への貢献

- ・ 自分や他の人を大切にし、社会共通のマナーやルールを守って行動できる人を育てます。
- ・ 人と人とのつながりを大事にし、支えあえる人を育てます。

ふるさとを愛する人の育成

- ・ ふるさとの歴史・文化・伝統を学ぶ機会を創出します。
- ・ 地域コミュニティ活動に参画し、「貢献できる人」を育てます。

(3) 重点施策

重点施策1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

- ・誰もが自分に合った「学び方」を選び、意欲を持って学べる授業を展開します。
- ・幼児期から英語に親しむ機会を創出し、国際理解教育の充実と英会話コミュニケーション能力の育成を図ります。
- ・ICT機器を積極的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を推進します。
- ・SDGsが目指す「誰一人取り残さない持続可能で多様性のある社会」を実現するための17目標を意識した教育活動を実践し、社会の一員としてより良い社会づくりに参画し行動する意識や能力を育成します。

重点施策2 生涯にわたる学びの充実

- ・休日の中学校部活動の地域移行と同時に、生涯にわたりスポーツや芸術活動に親しむ機会の確保のため各種団体との連携を図ります。

重点施策3 「多様性社会」を生きる上で必要な資質と能力の育成

- ・不登校やいじめ、虐待の未然防止と早期発見、早期対応が図られるよう指導や支援を行います。
- ・一人ひとりの教育的ニーズに対応した特別支援教育が推進されるよう関係機関との連携を図ります。
- ・「めざす子ども像」を共有し、幼保こ小中で一貫した保育・教育を推進します。
- ・命を大切にすることを推進するとともに、自分の命は自分で守る「自助」、互い助け合う「互助」を理解して行動する意識を高めます。

重点施策4 社会性を身につける機会の充実

- ・スポーツ少年団や社会教育関係団体の活動を充実することで、人と人とのつながりを大切にし、マナーやルールを守ることの出来る人を育てます。

重点施策5 地域とともにある学校づくり

- ・コミュニティ・スクールの体制づくりを推進し、地域学校協働本部と連携しながら、学校・家庭・地域が一体となった防災・防犯・交通安全教育を通して子どもたちの健やかな育ちを支えます。

重点施策6 地域社会での活動への参画

- ・地域に密着した活動により、地域の一員であることの自覚を促し、地域に貢献できる人を育てます。

重点施策7 地域の歴史・文化の保護と教育活動への活用

- ・地域にある歴史・文化・自然の価値や魅力を理解する学習に取り組み、「郷土を誇れる人」づくりを進めます。
- ・地域の歴史・文化を保護、研究、発信し史跡巡りや体験学習を効果的に行える拠点づくりに取り組みます。

重点施策8 安全で安心して学べる教育環境の確保

- ・施設内の危険性のある部分の修繕、緊急度の高い修繕を速やかに行い、子どもたちが安心して学べる教育環境を整えます。

2. 令和6年度 教育行政の体系

夢と志を持ち、自分の可能性に挑戦できる教育
多様性が尊重され、思いやりあふれる社会の構築への貢献
ふるさとを愛する人の育成

現代的課題への取り組み

- 1 英語コミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進
- 2 コミュニティ・スクール制度の運用と充実
- 3 ICT機器を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
- 4 防災教育の充実と危機管理体制

幼保こ小中一貫「めざす子ども像」

- ・ 友達の意見を聞ける子 自ら考え、判断し、表現できる子
- ・ おもてなしのあいさつができる子
- ・ 心身ともにたくましい子

確かな学力<知>

(幼保こ)

- 英語活動を楽しむ子
- 身近なことに興味を持ち、自ら活動し表現できる子

(小中)

- 英語でコミュニケーションをとろうとする子
- 他国の文化を認め、伊豆の国市の良さを伝えようとする子
- 課題を発見し、協力して解決していこうとする子

豊かな感性<徳>

(幼保こ)

- 友達を思いやり仲良くできる子

(小中)

- 自己肯定感や有用感を持った子
- 命の尊さを理解し、他人に優しい子
- 自然を愛し、感動する心を持った子
- 正しく判断し、行動できる子

健やかな心身<体>

(幼保こ)

- 友達と元気に遊ぶ子

(小中)

- 運動することを楽しみ、体を鍛える子
- 健康で安全な生活を送るため自己管理に気を配れる子
- 健全な食生活を理解し、実践する子
- 自助・互助の力を身に付けた子

<子ども、保護者、地域から信頼される伊豆の国市の教職員>

「確かな人権感覚、ゆるぎない授業改善への挑戦、不祥事根絶への強い意志」

3. 令和6年度 保育・教育目標

<保育園>

園名	保育目標	重点目標
あゆみ保育園	明るく元気な子	人とのかかわりを楽しむ子
ひまわり保育園		友達と仲良く遊ぶ子

<こども園>

園名	保育目標	重点目標
にじいろこども園	明るく元気な子	楽しく遊ぶ子

<幼稚園>

園名	教育目標	重点目標
富士美幼稚園	明るく元気な子	友達と一緒に遊びを楽しむ子
共和幼稚園		友達と一緒に楽しむ子
のぞみ幼稚園		自分らしさを発揮し友達と共に育ち合う子
田京幼稚園		友達と楽しく遊ぶ子

<小学校>

学校名	教育目標	重点目標
長岡南小学校	何くそ みがけ つつしめ	支え合い、高め合う仲間
長岡北小学校	よりよくかかわり よさを発揮できる子	すすんで取り組む姿勢の育成 人・もの・ことの活用
菰山小学校	心豊かに 創造する	認め合い 高め合う仲間
菰山南小学校	ともに高め合う きららの子	進んで学び合う子 思いやりのある子 心と体を丈夫にする子
大仁小学校	ひたむきにしなやかにがんばる子	自分の考えを進んで表現する子 自分も相手も大切にする子 最後までやり抜く子
大仁北小学校	未来をひらく たくましい北っ子	みとめあい、思いやる子

<中学校>

学校名	教育目標	重点目標
長岡中学校	確かな学力を身に付け、たくましくしなやかに生きる生徒	自ら学びに向かう生徒 規範意識を高め、集団生活を向上させようとする生徒 進んで働き、粘り強く鍛える生徒
菰山中学校	自主・自立	自ら考え、判断・決定し、行動する生徒
大仁中学校	夢を拓く	自ら問い、考え、表現する生徒

4. 令和6年度 取組みの重点

(1) 魅力ある学校づくり

- ① 魅力ある授業づくり
ICT機器を活用し、「主体的・対話的で深い学び」をキーワードに積極的な取組みを推進します。
- ② 英会話コミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進
ALT（外国語指導助手）の効果的な活用により、英語活動・英語授業の充実を図ります。
多様な文化を認めようとする寛容な心を醸成するとともに、伊豆の国市の自然・文化等を発信しようとする態度を育成します。
- ③ 「部活動の地域化」に向けての取組み
部活動の今まで果たしてきた教育効果、生徒にとっての居場所、教員の働き方改革、生徒・保護者の部活動への思い等を念頭に、伊豆の国市の部活動の在り方を検討していきます。
- ④ コミュニティ・スクール制度の運用と推進
学校運営協議会と地域学校協働本部の運用の推進を図り、地域教育人材の積極的な活用を推進します。
- ⑤ 防災教育の充実と危機管理体制の整備
豪雨災害、巨大地震災害への対応を再確認し、防災教育と危機管理体制の充実を図ります。
- ⑥ 不登校の未然防止と早期対応
子どもの心に寄り添うことを第一とし、不登校やいじめの未然防止並びに迅速な対応ができる組織の構築を図ります。
- ⑦ 情報教育の推進
ICT機器の授業への積極的な活用を充実するとともに、情報モラルの浸透に努めます。
- ⑧ 幼保こ園と学校間の相互理解と連携
「めざす子ども像」を共有し、幼保こ小中一貫教育を推し進めます。
- ⑨ きめ細かな指導の充実と読書活動の推進・充実に努めます。
- ⑩ 環境教育の推進
SDGsを念頭に、環境教育の充実を図ります。

(2) 一人ひとりの個性が輝く生涯学習社会の創造

- ① 生涯学習の充実
 - ア 生涯学習
 - ・市民の生涯にわたる多様な学習意欲や時代背景を伴う課題に対応し、各種の講座及び講習の充実を図る。
 - ・青少年育成活動、防災教育、健康・福祉学習を通して次世代を担う人づくりの推進を図り、世代間交流、国際交流等を実施して子どもたちの世界観を広げていく。
 - イ 図書館
 - ・中央図書館、韮山図書館の図書館機能の充実を図り、利用者サービスの向上

及び地域の情報起点としての役割をさらに推進する。

- ・近隣市町図書館との相互利用を積極的に推進する。
- ・図書館活動のPRを推進し、読書の啓発及び図書館の利用促進を図る。
- ・電子図書館の普及とともに啓発を図っていく。
- ・読み聞かせボランティア団体の育成を推進するとともに、事業の充実を図る。

② 生涯スポーツの推進

ア 各種団体等への支援

- ・スポーツ推進委員会、スポーツ協会、スポーツ少年団の活動支援と育成に努め、地域ぐるみの自主的活動を掘り起こし支援していく。

イ スポーツ指導者等の育成

- ・講演会や指導者研修会等を開催し、各種団体や地域等におけるスポーツ指導者及びリーダーの育成と資質向上を図る。

ウ 各種教室の企画・開催

- ・市民が気楽に参加でき、楽しさあふれる地域スポーツの振興や市主催のスポーツ大会、スポーツ・レクリエーション教室の企画・開催を推進する。

エ 各種団体等との連携

- ・スポーツ協会、スポーツ少年団との連携を密にし、スポーツを通じた青少年の健全育成と競技力の総合的な向上を図る。

オ 施設設備等の充実

- ・市民が安全に、かつ安心してスポーツに参加できる環境を確保するため、各スポーツ施設の効果的な整備や施設開放及び参加する機会の充実を積極的に推進する。

(3) 歴史・伝統文化の保護継承と、地域の魅力となる文化の創造

① 歴史資源の保護・活用

ア 文化財の保護

- ・韮山反射炉をはじめとする郷土の貴重な歴史資源である文化財を保護し継承するために、必要な調査研究の実施と保全措置に努めるとともに、市民への啓発活動を広く積極的に行う。

② 郷土史研究の推進とふるさと意識の醸成

ア 伊豆の国市郷土資料館の展示内容の充実と情報発信

- ・定期的な郷土資料の企画展示を実施し、地域が持つ歴史資源の魅力に関する情報を発信するとともに、学びの機会を提供する。
- ・郷土に対する愛着を育てるため、生涯学習や学校教育を通して、地域の歴史資源に触れる機会を積極的に提供していく。
- ・文化財展示施設の建設計画を鑑みて、教育活用プログラム等の充実を図る。

5. 安全で安心して学べる教育環境の確保

予想される南海トラフ地震等による災害から教育施設を守るため、施設の耐震化をはじめとする防災安全対策や施設の維持保全是喫緊の課題となっている。子どもたちが安全で安心して学べる環境づくりや、市民が生涯に渡って学び続けることの

できる環境を整備するための施策や指針をまとめた「伊豆の国市教育施設整備計画」に基づき、学校施設をはじめとした教育施設の耐震化、再編及び改修等を行ってきた。

現在、学校施設の耐震化は概ね完了し、今後は「伊豆の国市公共施設等総合管理計画」と整合をとりながら、各施設の実情を踏まえ個々に対応していく。

6. 教育委員会の活動等に対する点検・評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検と評価を行い、その結果の報告書を作成し、市議会に提出するとともに公表する。